

高麗広地区



高麗広地区は、伊勢神宮林内を流れる五十鈴川沿いに人家が点在する地区です。自然環境に恵まれている反面、交通網等も発達しておらず五十鈴川と並走している主要地方道伊勢南勢線が平常時や緊急時の生命線になっています。

この曲がりくねった細い県道沿いには、多く土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所等の危険箇所があります。また、隣近所が離れている場所も多く、日ごろからの土砂災害に対する備えを家族や近隣で検討しておくことが重要です。

災害発生の可能性が高まった時 どのタイミングで だれと どのように どこへ 避難するのか

- 次の各ステップに従って、必要な情報をこのマップ(P.5 ~ P.22)に実際に書き込んで、あなたの家族だけの防災マップを完成させてください。
- マップに赤いペンなどで避難経路、危険な箇所を直接追記してください。
- 土砂災害、洪水、地震時では、安全な避難場所や避難経路が異なる場合がありますので、災害の形態に合わせてそれぞれ選択しましょう。

第1段階

このマップからあなたの家を見つけ、周辺の危険箇所などの状況を確認しましょう。

- あなたの家は?
- あなたの家の周辺には、危険な箇所がありますか?



第2段階

あなたの避難所と避難経路を確認しましょう。

- あなたの家から避難所までの所要時間はどれくらいですか?
- 避難所までの間にある土砂災害(特別)警戒区域を確認しましょう。
- 指定避難所以外の避難場所、避難経路の候補はありますか?



第3段階

あなたが地図上で選択した避難経路を安全に避難できるか確認しましょう。

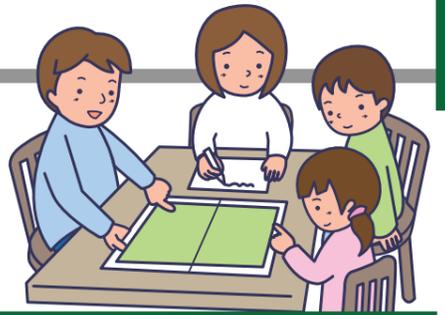
- 避難経路に沿って、災害の起きそうながけはありますか?
- 避難経路上で浸水するような場所がありますか?
- 避難経路の近くにマンホール、道路の側溝、深く窪んだ場所などがありますか?
- 避難経路に沿って、夜間でも避難できるような街灯などはありますか?
- 避難経路沿いで避難の呼びかけなどをしていく住宅等はありませんか?



今後もより現状に合ったマップとするためにP5~P22のマップを自分で更新しましょう。

避難カード

27・28ページを参考にして、下の「わたしの行動メモ」に土砂災害への対応を記入し、それぞれの状況でどういう行動をするか、事前に確認しておきましょう。



わたしの行動メモ

● 「 高齢者等避難 」が発令されたら? 例)おじいちゃんは避難をはじめます。	● 今後 大雨が降り続きそう なとき(※台風や集中豪雨) 例)大雨になる前に避難所に避難をしをはじめます。
● 「 避難指示 」が発令されたら? 例)家族で考えた高台など安全な場所へ避難する。	● 土砂災害の 前兆現象 を発見したら?(※26ページ) 例)伊勢市に連絡し、危険を感じたら避難をはじめます。
● 「 緊急安全確保 」が発令されたら? 例)建物の上階へ移動する。	● 逃げ遅れた ときは? 例)自宅二階の裏山から離れた場所に避難する。

MEMO

避難の時期を逃した場合は、 斜面からなるべく離れた部屋や二階に避難する等の対応をしましょう。

このほかにも、テレビやラジオなどで気象情報も確認しましょう。(※詳しくは 27 ページを参照) 様々な情報を収集し、早めの避難を心がけましょう。

避難所 伊勢市では、統一的な基準を設定し、災害時の避難所を指定しています。避難所(自主避難所含む)を伊勢市防災マップで確認しておきましょう。



指定避難所 〈進修小学校 校舎、県営総合競技場〉
職員を派遣し、市が開設する避難所。原則として学校・体育館等の大規模人員を収容できる施設。

自主避難所 〈進修小学校 校舎〉
台風接近時など、避難指示等を発令する前に自主避難できるよう開設する避難所です。

自治会避難所
自治会が自主的に開設、運営する避難所